



そよかぜきた小

令和7年1月24日
1月号
日置市立伊集院北小学校

いよいよ3学期

～蛇のように脱皮し、高みを目指して挑戦する1年に～

校長 田平 奈保美

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

人は誰も、新年のこの時には清新な気持ちになります。初詣に行く方は、これから始まる一年を展望しながら手を合わせて夢を描いたりするものです。この絶好の機会を子どもたちにも大切にさせたいと思います。

3学期の始業式には、2年、4年、6年の3名の子どもたちが元気よく3学期にがんばりたいことやできるようになりたいことなどを発表しました。そして自分の「本当の力」をもっと知るために、へびのように脱皮しながら、今までとは違う自分に出会うために、挑戦すると決めたことはとことん努力し達成できるようにしたいと新年の誓いを立てました。



夢や目標を立てた以上は、それが実現できたのか、あるいは実現できなくても、どこまで到達できたのかを振り返ることは、とても教育的な意味があると思います。それは、努力した自分を自覚させることを通じて、自分自身を価値ある存在であると思うことにつながるからです。成長期の子どもたちにとって、成功体験も大切ですが、未達成だったり、失敗体験も現実にはあります。それらの体験も含め、自分の努力を自分の「本当の力」と認めることができることは、自分自身を価値ある存在として認識することにつながると思います。大人になる過程において、このような体験を積み重ねることは、豊かな人生の実現への意味あるステップであると思います。

また、1月11日は、鹿兒島風の会の会長である坂上治比己さんをお招きし、伊集院北地区公民館・伊集院北小父ちゃん会合同での土曜授業の中での風作り教室を行い、翌日、1月12日には、「もちつき・たこあげ大会」を実施しました。約120名の方々に小学校にお越しいただき、子どもたちと触れ合いながら、昔ながらの餅つきや天高く飛ぶたこあげのコツを教えていただきました。このように子どもたちが、地域の方々と触れ合う機会をつくることができ、とてもうれしく思っています。子どもたちも笑顔があふれておりました。今回のように地域と一体となり連携した活動ができることに感謝します。これからも、地域の方々が、いつでも気軽に学校へお越しいただけるようにしていきたいと思っております。

2月の目標
希望の登校
満足の下校

●生活目標 【強い体と心をつくろう】

●保健目標 【寒さに負けないようにしよう】



3学期始業式

14日間の冬休みを終え、子どもたちはそれぞれに新年の抱負や目標をもち、3学期の学校生活をスタートさせました。

始業式では、2年生：石神杏羽さん、4年生：今村幸豊さんがとても立派なあいさつをしてくださいました。ここでは、小学校生活最後の学期を迎えた6年生代表：堀口旦陽さんのあいさつを紹介します。



冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まります。皆さん、冬休みは楽しく過ごせましたか。僕は祖母の家に行き、家族でゆっくり過ごし、よい1年のスタートを切ることができました。

と同時に、僕たち六年生にとって中学校へ向けてのカウントダウンが始まりました。僕は中学生になるうえで、運動や勉強はもちろんですが、がんばりたいことが2つあります。

1つ目はボランティア活動です。先生に指示される前に自分たちで考えて動けるようになってきたので、周りの様子を見て、より自分たちで考え、行動できるようになりたいです。

2つ目はあいさつです。3学期は、先生方だけでなく、友達や下級生へもしっかりとあいさつをしていきたいです。そのために、1・2年生の教室にあいさつをしていきたいと思っています。

6年生22名で過ごすのもあと少しになりました。一日一日を大切に楽しく過ごし、いい思い出をたくさん作れるようにしたいです。

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われます。あっという間に過ぎていく感のある3学期ですが、それぞれにしっかりと学習や運動に取り組み、1年間のまとめができるように頑張りたいと思います。

1月のおすすめの本 テーマ「新たな年に読みたい本」



「おせちいっかのおしょうがつ」

「開運えほん」

「十二支のかぞえうた」



凧づくり教室&凧あげ・餅つき大会

1月の土曜授業では、鹿児島凧の会の坂上様をはじめ、地域の方や保護者の方々10名を講師としてお招きし、「凧づくり教室」を実施しました。授業の合間には、MBCラジオのポニー号が来校して、児童へのインタビューの様子を放送していたので、お聞きになった方もいるかもしれません。



全校児童を2つに分け、縦割グループで取り組んだため、難易度は学年によって差があったようですが、どの児童も真剣に取り組み、思い思いの絵や文字を書き込んで、世界に一つだけの凧を作りあげました。

土曜日の3時間目に、地域の方々といっしょにたこ作りを行った。私は、たこを作るのは初めてだったが、簡単に楽しく作ることができた。たこひもを結ぶのが難しかったが、地域の方々が教えてくださったので最後まで作り上げることができた。
(6年生 内山凛桜さん)

凧づくり教室の翌日には、父ちゃんの会・家庭教育学級・北地区公民館合同で、「たこあげ・餅つき大会」を行っていただきました。前日から雨(雪)の心配がされましたが、児童・保護者、地域のおじいちゃん・おばあちゃん達も含め、昨年を大幅に超える数の参加がありました。

まず、子どもたちは凧あげをしました。前日に自分で作った凧を持ち寄り、校庭を元気に走り回っていました。あいにく、風がほとんど吹いていなかったため、大空高くとまではいきませんでした。それでも「手作り(世界に一つ)」というスパイスは、何物にも替えがたいものがありました。



子どもたちが凧あげを楽しんでいる間も、餅つきの準備は着々と進んでいきます。餅米が蒸し上がる頃になると雨が降り出したので、テント内に設置した臼に餅米を移して杵でついていきました。子どもたちも臼の前に列を作って並び、順番に杵でつかせてもらいました。できたてのお餅は子どもたちやお母さん方、地域の皆さんの手伝いをお願いながら丸めていきました。丸めてでき上がった餅は、その場できな粉をつけたり、海苔で巻いたり、ぜんざいに入れたりして美味しくいただきました。やはりつきたてが一番です。最後は、凧あげ大会の表彰や抽選会と、たいへん充実した半日となりました。



前日までの準備や当日の運営など、父ちゃんの会の方々をはじめ、地域の皆様のおかげで、子どもたちにまた一つよい思い出ができました。ご協力に感謝申し上げます。



2学期の学校評価から

2学期の保護者の皆様の学校評価アンケートの結果です。

評価項目		1学期	2学期
1	学校に楽しく登校していますか	3.5	3.2
2	学習に意欲的に取り組んでいますか。	3.3	3.1
3	家庭学習の習慣が身につけてきていますか。	3.1	3.0
4	あいさつや思いやりをもった行動ができていますか。	3.3	3.3
5	学校は相談や連絡に迅速な対応ができていますか。	3.3	3.1
6	読書の習慣は身につけてきていますか。	3.0	2.9
7	身の回りの安全に気をつけて生活していますか。	3.3	3.2
8	基本的な生活習慣は身につけていますか。	3.3	3.2
9	学校から必要な情報が発信されていますか。	3.2	3.2
10	学校の様子を参観する機会を適切に設けていますか。	3.5	3.6

貴重なご意見等もいただきましたので、今後の教育活動に生かしてまいります。アンケートへのご協力ありがとうございました。
(4点満点)

地域清掃活動

12月の土曜授業では、9つの縦割り班に分かれ、学校周辺の下神殿地域を中心に清掃活動を行いました。この活動は、公共のために役立つ活動を通して、身の回りの環境問題に気づき、環境の整備に努めようとする態度を養うことを目標としています。



2月の行事予定

- 4日(火) 新入学児童学校説明会
- 6日(木) 委員会・代表委員会
- 10日(月) C校時
- 7日~13日 家庭学習強調週間《全力カード》

※2月は「土曜授業」はありません

- 12日(水) 音楽集会【1年生】 巡回文庫
- 13日(木) PTA役員会
- 14日(金) いちょうの木(読み聞かせ)
- 20日(木) SC来校 PTA運営委員会
- 21日(金) なわとび集会《そよかぜタイム》
- 27日(木) C校時 授業参観
学級PTA 家庭教育学級閉級式
- 28日(金) 6年生を送る会 お別れ遠足

※予定は変更になる場合があります。週報等でご確認ください

